

参考資料

参考資料－1 ヒアリング調査の概要	135
参考資料－2 「歴史の道」現況特性図	136

参考資料－1 ヒアリング調査の概要

本年度の検討対象である「歴史の道」（三国街道、佐渡奉行街道、沼田街道、会津街道、清水峠越往還）に関する21市町村（4市6町11村）を対象としてヒアリング調査を実施し、17の市町村（4市5町8村）から回答を得た。

～ヒアリング調査～

「歴史の道」の保存状況や沿道の歴史的資源の分布状況、各市町村の「歴史の道」に対する意向等を把握するために、以下の項目についてヒアリング調査を行った。

以下の項目のうち、①～③の調査結果について整理すると、次頁以降に示すとおりである。

- ①特に重要な歴史的資源、及びその理由
- ②特に保存・復元したいと考えている歴史的資源、及びその理由、方法
- ③歴史的街並み保全や修景整備等を行っている、または今後計画のある箇所
- ④代表的な歴史的資源の概要
- ⑤歴史の道の保存状況
- ⑥歴史の道の現在の道路区分

～「歴史の道現況特性図」の作成～

ヒアリング調査の結果と「歴史の道調査報告書」、現地調査の結果等をもとに、歴史の道の保存状況、歴史的資源の分布状況及び主な歴史的資源の概要を整理し、「歴史の道現況特性図」（参考資料－2）としてとりまとめた。なお、歴史の道の保存状況、歴史的資源の分布状況については以下に示す分類で整理した。

【歴史の道の保存状況】

- ①原状のままの道：道として存続しており、線形や幅員も原状をとどめている区間
- ②改変された道：道として存続しているが、拡幅整備等により原状をとどめていない区間
- ③消失した道：宅地化・農地化や、雑草等に覆われて道としての機能が消失している区間

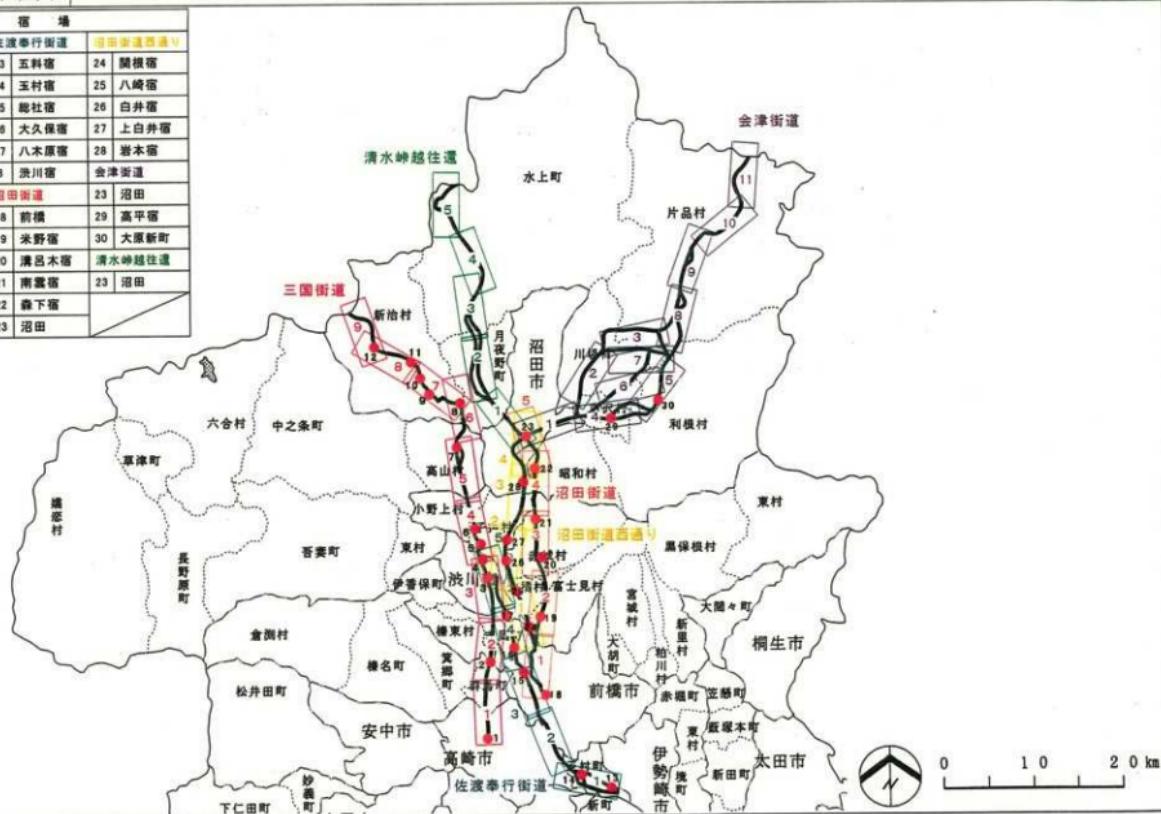
【歴史的資源の分類】

- 建築物（本陣跡、陣屋跡、茶屋跡、関所跡、古い民家 等）
- 神社・寺等
- 近代化遺産
- 一里塚
- 常夜燈
- 石造物（馬頭尊、道祖神、庚申塔、供養塔 等）
- 道標（里程標含む）
- 碑（句碑、石碑、板碑 等）
- 並木
- 城跡
- 渡し・河岸跡
- 古墳
- その他（井戸、橋、墓、大木、水路 等）

位 置 図 -----	137
三 国 街 道 -----	138
佐 渡 奉 行 街 道 -----	151
沼 田 街 道 -----	157
沼 田 街 道 西 通 り -----	165
会 津 街 道 -----	169
清 水 峠 越 往 還 -----	180

現況特性図 位置図

宿場		
三国街道	佐渡奉行街道	沼田街道西通Ⅳ
1 高崎宿	13 五料宿	24 関根宿
2 金古宿	14 玉村宿	25 八崎宿
3 汽川宿	15 脊社宿	26 白井宿
4 金井宿	16 大久保宿	27 上白井宿
5 北牧宿	17 八木原宿	28 岩本宿
6 横堀宿	3 汽川宿	会津街道
7 中山宿	沼田宿	23 沼田
8 塚原宿	前橋	29 高平宿
9 布施宿	19 米野宿	30 大原新町
10 猿川宿	20 濑呂木宿	清水峠越往還
11 相俣宿	21 南雲宿	23 沼田
12 永井宿	22 森下宿	
	23 沼田	



現況特性図 三国街道1 高崎市本町～群馬町棟高

三国道の道しるべ

三国街道と様名道との
分岐点にある。市指定
史跡。



常夜燈

諏訪神社参道入口にあ
る。中山道新町宿から
買い取ったもの。



道祖神兼道しるべ

道祖神の台石が道し
るべを兼ねている。



凡	● 建築物(跡)	● 神社・寺等	● 近代化遺産	■ 一重塙	△ 常夜燈	■ 石造物	■ 道標	— 現状のままの道	----- 消失した道	
例	● 建築物(現存)	▲ 津	● よこ	並木	■ 城跡	○ 渡し・河岸跡	■ 古墳	● その他	— 改変された道	- - - 市町村境界

凡 例

● 神社・寺等	1 炙音寺
	2 諏訪神社
	3 金剛寺
	4 医光寺
	5 諏訪神社
	6 石上寺
	7 西光寺
	8 観音堂
● 近代化遺産	1 高崎倉庫飯坂営業所
▲ 古墳	1 保波田古墳
● その他	1 菩提
	2 西光寺のしだれ桜
	3 三ツ寺の塚

現況特性図 三国街道 1 高崎市本町～群馬町棟高

【医光寺のしだれ桜】

高崎市下南町の磁羅寺の境内で、15世紀中頃の開基。近世初期に現在地へ移る。「磁羅寺文書」では1686年頃の植樹と思われる、300年以上たつ古木である。



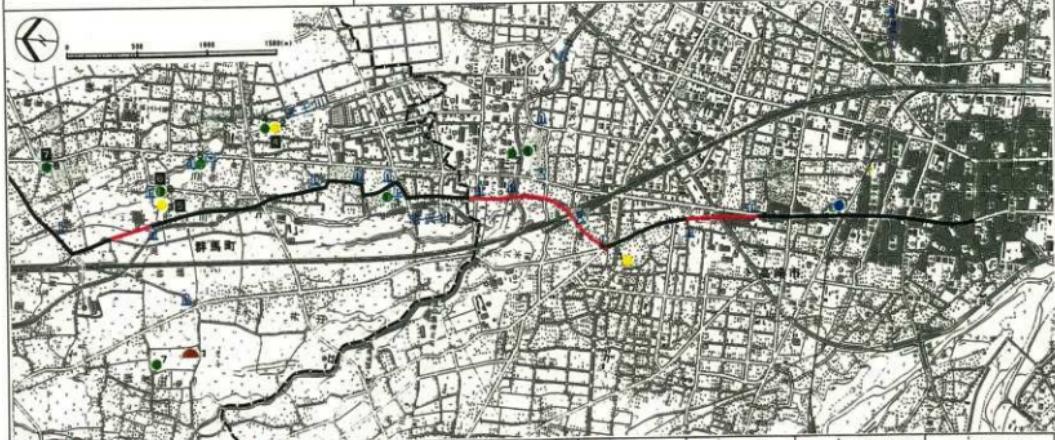
【三ツ寺の塙】

慶安2年に高崎藩の水利事業として完成。高崎市の奉附から粘土を運び、周囲を固めた。近年、町立公園（水と緑の公園）として整備された。



【石上寺の五輪塔】

石上寺は真言宗龜山派で明治3年に慶喜法印を応永15年に別当堂を供養した五輪塔の2基が存在する。いずれも完滿で県内屈指のものである。



凡	● 建築物(新)	● 神社・寺等	● 近代化道路	■ 一重塙	▲ 常夜燈	■ 石造物	■ 道標	■ 黒状のままの道	----- 消失した道
例	● 建築物(既存)	■ 墓	■ 並木	■ 城跡	□ 渡し・河岸跡	■ 古墳	■ その他	— 改変された道	- - - 市町村境界

【観音堂】

元弘3年をはじめとした中世の仮説群や1801年作の高遠石工による天満宮、石室、江戸時代の大仏看経を納める経蔵等多くの文化財が存在する。



三国街道 1 [高崎市本町～群馬町棟高]

凡例

神社・寺等	1 紗音寺
	2 諏訪神社
	3 金剛寺
	4 医光寺
	5 諏訪神社
	6 石上寺
	7 西光寺
	8 観音堂
近代化道路	1 高崎倉庫整理営業所
古墳	1 保渡田古墳
その他	1 古塙
	2 医光寺のしだれ桜
	3 三ツ寺の塙

現況特性図 三国街道 2 群馬町棟高～吉岡町上野田

三国街道 2 [群馬町棟高～吉岡町上野田]

■三国街道の道標

元治7年12月、中里村の農民3人が三国街道と坂峠街道の三国道に建立した。群馬県内でも最も古い道標である。現地点は後で移動されたもの。



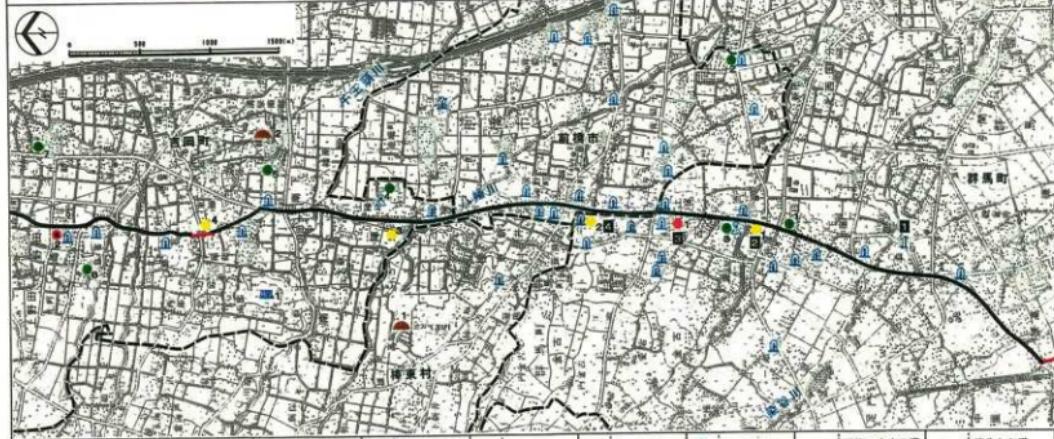
■土俵の天王様

嘉永5年5月に建立。金古宿の市神として祀られ、現在でも毎年7月に地元の方々により例祭が執られる。



■金古神保家(代官所跡)

神保氏は、江戸初期にここへ移り、族本神保氏の代官や名主を務めた。現在でも母屋、表門、平屋等が残る。

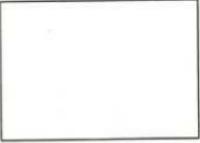
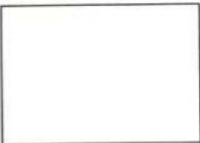


■行人塚と大ケヤキ

行人塚は坂上に寛文2年の宝篋印塔が建ち、真岩町正直士の入定塚と伝承される。ケヤキは樹齢350年と推定され、町内でも最大級の木である。金古宿の北端、通称「木戸塚」という立地も面白い。



凡 例	
● 建築物	1 金古神保家(代官所跡)
	2 桃井館
● 神社・寺等	1 二十三夜堂
	2 薩野神社
	3 常仙寺
	4 小出神社
	5 下八幡神社
	6 常泉寺
	7 華藏寺
■ 古 墳	1 高塚古墳
	2 南下古墳群
■ 城 跡	1 桃井城跡
■ その他の	1 土俵の天王様
	2 行人塚と大ケヤキ
	3 石岡黒山の墓
	4 馬場里久の墓



現況特性図 三国街道2 群馬町桃井~吉岡町上野田

■ 墓場の常夜燈



元三国街道沿いにあったものを小出神社に移したものである。昔障塀が宿場的な役割を担っていたことを示す資料である。

■ 桃井城跡



南北朝時代の武将桃井盛蔵が築いたと伝えられ、現在も僅かながら土壘や礎石を残している。周辺には、中世の石造物や神社、寺など開運の史跡・文化財が多くある。

■ 南下古墳群



吉岡中学校南の丘陵周辺には古墳が多く残っている。中では人~B号の古墳は現口しており石室が見学できる見事な裁石切組墓の石室をはじめそれが異なった石材の取り扱い方がされている。



凡 例	
● 建築物	1 金古神保家(代官所跡)
	2 桃井館
● 神社・寺等	1 二十三夜堂
	2 熊野神社
	3 常仙寺
	4 小出神社
	5 下八幡神社
	6 常泉寺
	7 華嚴寺
■ 古 墳	1 高塚古墳
	2 南下古墳群
■ 城 跡	1 桃井城跡
● その他の	1 土俵の天王様
	2 行人塚と大ケヤキ
	3 石岡黒山の墓
	4 馬場重久の墓

■ 馬場重久の墓



馬場重久は本町北下に生まれた。江戸時代にわが国最初の養蚕手引書と言われる「養蚕育手稿」を著し、本県の桑幹産業ともいえる養蚕業に多大な功績を残した。

■ 桃井館



桃井館は南下の元八幡にあったが、一度茨城市の有馬に移った後、天保8年現在の藤原家所有となった。櫻樹の養蚕と風扇の形刻は桃山時代の風式を残すといわれる織田、東風なものである。

■ 春藍寺



寺の創建は1519年に遡る、慈願宗の寺院である。延喜の古事記では八世泰行が建立した。寺内での宿泊は1700年代に建てられたもので山吹日記で著名な奈佐藤屋をはじめ多くの文人墨客が逗留している。

現況特性図 / 三国街道3 吉岡町上野田～洪川市金井

三国街道3 [吉岡町上野田～洪川市金井]

■三国街道一里塚

ここ上野田の一里塚は、起点の高崎から西墨目にある。赤城をながめるながら宿の木影で涼をとる旅人の歩が、汗かんで来るようだ。これである。



■原沢文仲の墓

江戸時代に代々医業を営む家に生まれ、紀州の華岡、上州の原沢と並び称されるほどの名医となつた。後年は医業を弟子に任せ自らは江戸、長崎に研究遊歴した。



■鳴泉神社

上野田御名帳の泉矢明神が当社であろうといわれる。神社周辺には宮西、宮東の地名も残り、古社であることを物語っている。本殿裏の巨石が磐体で、古代の巨石磐体に由来するものと思われる。



三国街道3 [吉岡町上野田～洪川市金井]

凡例

- 建築物 1 旧入沢家住宅
- 2 金井本陣地下牢

- 神社・寺等 1 鳴泉神社
- 2 高善寺

- 3 泰安寺
- 4 神室寺

- 5 道口神社
- 6 行幸田甲波宿禰神社

- 7 光運寺
- 8 猿田彦神社

- 9 大山祇神社
- 10 林寺

- 11 良瑞寺
- 12 洪川八幡宮

- 近代化遺産 1 旧洪川信用組合
- 2 東京電力洪川発電所

- 古墳 1 虚空蔵塚古墳
- 2 金井古墳

- その他 1 原沢文仲の墓
- 2 行幸田の獅子舞

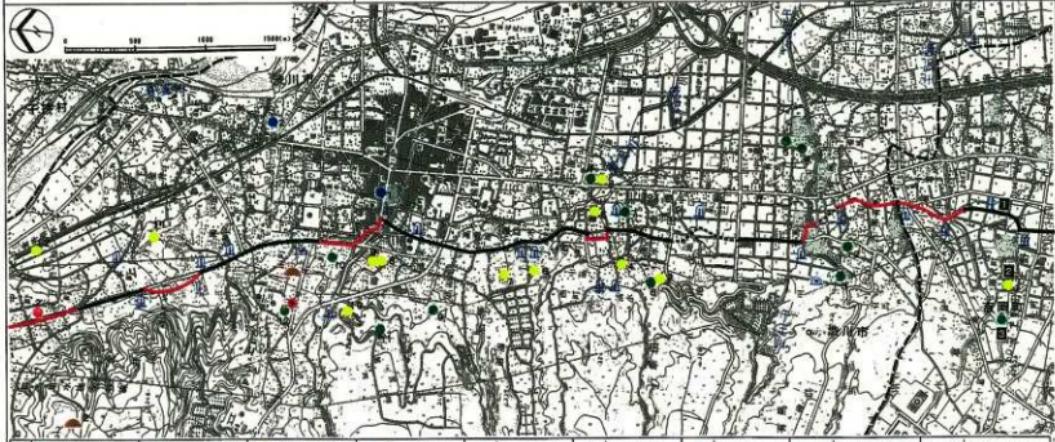
- 3 猿田彦神社の大和神楽
- 4 中筋遺跡

- 5 空堀遺跡
- 6 大島墓地の石堂墓石

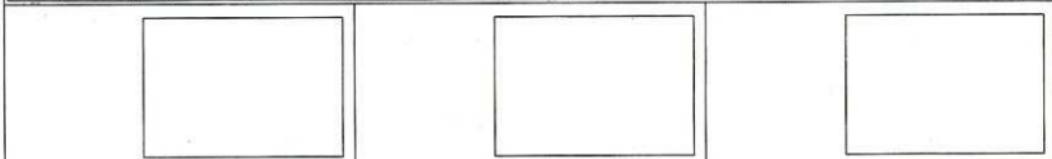
- 7 石造笠塔婆
- 8 塚口靈園の墓

- 9 薩闐墓地の大ケヤキ
- 10 永享の五輪塔

- 11 金井製鉄遺跡
- 12 岸壁後守積保の墓



凡	● 建築物(跡)	● 神社・寺等	● 近代化遺産
例	● 建築物(現存)	● 墓	● 並木
	■ 城跡	□ 通し・河岸跡	■ 古墳
	■ その他		■ 道標
			— 里塚のままの道
			--- 消失した道
			— 改変された道
			- - - 市町村境界



現況特性図 三国街道3 吉岡町上野田～渋川市金井

古跡遺跡

標高山の爆発（5世紀末頃）によって噴出した厚さ1m位の火山灰で没した古墳時代中期の集落遺跡である。住居（竪穴式住居・平地式建物）、墓、埴輪祭祀の遺構が多い状況で保存されている。



石造生簾塔基

塔基は、塔身の高さ13.5cm、幅30cmである。西面に梵字を彫り、正面下部に南無阿彌陀佛印と仏名には法名や延喜元年の刻がある。笠は後補のもので、高さ22.8cmである。



塙口塙園の墓

董國は、室宿に生まれ、木暮守、高橋衛門、信房守に儒学・漢文を学ぶ。信房守の元から塾長を引き継ぎ、門弟中より多くの地方指導者を出す。維新後も、塾長や学区取締などとして民政・教育に貢献した。



渋川八幡宮本殿

本殿は間口3間、奥行2間の流造で、梁間部の組、手挟み、海老立柱、こぶし鳥、鰐魚などに後山風の特徴が見られる。



虚空蔵古墳

この古墳は横穴式石室をもつ円墳で、6世紀後半の軽石層の上に7世紀末に築かれたものである。石室は玄室・前室部だけが覆瓦のない珍しい形である。



金井製鉄跡跡

この遺跡は金井前原田地主側の河岸段丘上にある。炉の規模は長径90cm、短径55cm、壁高は40cm前後で南北に開口し、炉形は橢丸形の複型炉である。8世紀後半のものである。



凡例

● 建築物	1 旧入沢家住宅
	2 金井宿本陣地下牢
● 神社・寺等	3 渥美神社
	4 高若寺
	5 泰受寺
	6 神宮寺
	7 露口神社
	8 行幸田甲波密禪神社
● 近代化遺産	9 大山祇神社
	10 林徳寺
	11 良瑞寺
	12 渋川八幡宮
● 古 墳	1 旧渋川信用組合
	2 東京電力渋川発電所
	3 虚空蔵塚古墳
	4 金井古墳
● その他の	5 空沢遺跡
	6 大島家墓地の石堂墓石
	7 石造生簾塔
	8 塙口塙園の墓
	9 葵園墓地の大ケヤキ
	10 永享の五絃塔
	11 金井製鉄遺跡
	12 岸岸後守塚跡の墓

現況特性図 三国街道 4 渋川市金井～小野上村小野子

三国街道4〔洪川市金井~小野上村小野子〕

金井の宣誓印塔

この宝篋印塔は鎌倉時代末期の様式をもつ。高さ150cmの塔である。中台を付けた関東型式で埼玉・群馬に多い。寛永年中に金井の萬福堂の地から移転したと伝えている。

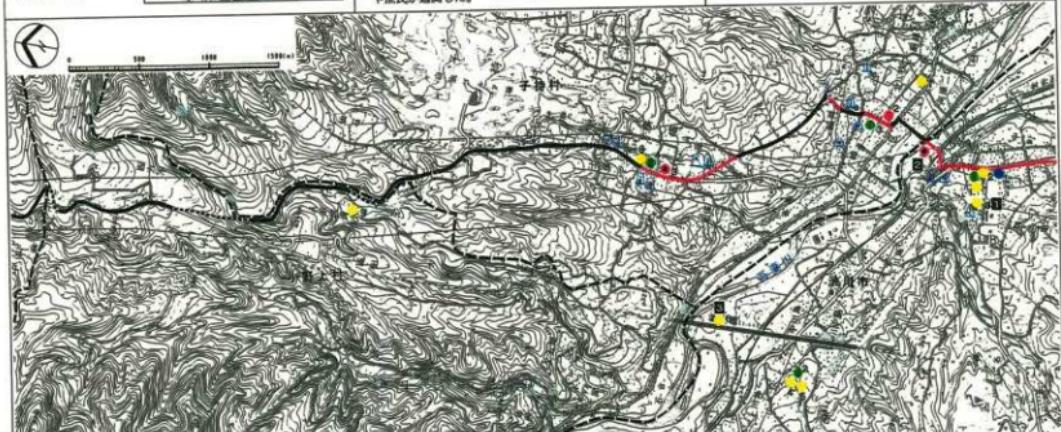


2 玄ヶ崎御所跡



③金島の波間石

天明3年の浅間山の大噴火で泥流によって運ばれてきた両輝石安山岩である。この類の大石が渋川の田畑に多数あることは、その被害の大きかったことを示している。



凡	●	建築物(総)	●	神社・寺等	●	近代化遺産	■	一里塚	▲	常夜燈	■	石造物	■	遺稿	■■■■■	裏状のままの道	-----	消失した道
■	●	建築物(複数)	●	寺	●	並木	■■■	城跡	□	渡し・河岸跡	■■	古墳	●	その他	■■■■■	改変された道	-----	市町村境界

A horizontal row of four empty square boxes, each enclosed in a thin black border, intended for children to draw or write in.

現況特性図 三国街道4 渋川市金井～小野上村小野子

■北之宿

横櫛宿と吾妻川対岸の金井宿への荷物の継立で旅人の宿泊もあり役を果たしていた。宿の中央に流れる樺が木の面影を留めている。



■人助けの木

高さ約8mの樺の木で「人助けの木」といわれていて、木の根は400年を超えると推定される。浅間山の噴火による泥流がこの木に巻きついたがこの木に巻いた人は助かったといわれている。



■興福寺

延喜山と号し、慶長13年に臨済宗空慧寺の本寺として開山した。慶安元年に本寺空慧寺が源澤寺院に改宗するに従い、同派となる。浅間山の噴火による雪崩からの復旧を称えた「暖貨感恩碑」がある。



凡	● 建築物(跡)	● 神社・寺等	● 近代化道路	— 一重塼	常夜燈	石造物	道標	— 原状のままの道	----- 消失した道	
例	● 建築物(現存)	● 建	● 未完	● 生木	● 城跡	● 渡し・河岸跡	● 古墳	● その他	— 改善された道	---- 市町村境界

■北之宿

宿場として設定されたのは慶長の頃で、三宿に分かれ、宿の中強に本陣、脇本陣、升屋を中心として多くの旅籠があった。現在は道の両側に旧家の家や石垣が点在し、本陣跡も現存している。



■大山祇神社

大山祇命を祀り、「坂根の十二様」として残しまれていている。旧坂根村の村社でもあった。社殿は度々改築されているが、平成4年には現在の社殿が建設された。県指定天然記念物の大フジがある。



■八木沢清水遺跡

昭和51年に発見された绳文時代草創期（5000～8000年前）の遺跡で、古墳の穴穴式居抜平均8年度に2度整備事業完了。造形保存及び展示施設がある。県指定史跡。



凡 例

● 建築物	1 まヶ橋関所跡
	2 北牧本陣
	3 横堀宿本陣
● 神社・寺等	1 金蔵寺
	2 川島甲波宿護神社
	3 興福寺
	4 大山祇神社
● 近代化道路	1 旧石田充龍邸
● その他	1 金蔵寺のしだれザクラ
	2 金蔵寺のナンテン
	3 金井の宝鏡印塔
	4 甲波宿護神社の算額
	5 川島の獅子舞
	6 金島の浅間石
	7 人助けの木
	8 大山祇神社の大フジ
	9 八木沢清水遺跡

現況特性図 三国街道 6 小野上村小野子～高山村中山

三国街道 5 小野上村小野子～高山村中山

■なぎなた坂の歌碑

避國雑記の道興准後の紀文で、文明18年7月、この地で歌められた。『杖をだに重じいと右山越えて薙刀板を手縛りにぞゆく』(平成元年村指定)



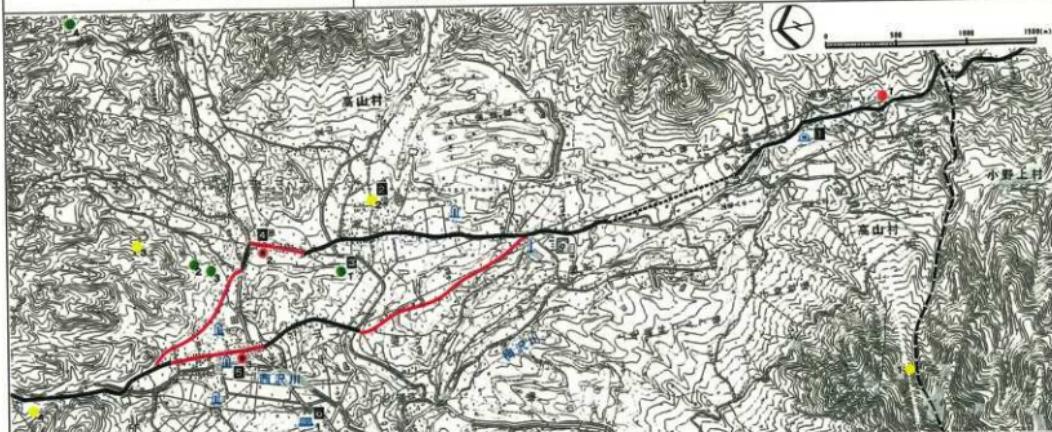
■中山敷石住居跡

南北朝時代の中期後半から後醍醐天皇の治世前半の物と推定される昭和47年に発掘されたものである。地中下約50cmの所にあり、中央には石組みの井や平石の施下伏や特殊遺構がみられる。(昭和52年村指定)



■中山神社

創建元慶2年、勅請。境内に立派な杉が植えられている。(昭和52年村指定)



凡	● 建築物(跡)	● 神社・寺等	● 近代化遺産	■ 一重塼	△ 常夜燈	■ 石造物	■ 道標	—■— 現状のままの道	----- 消失した道
例	● 建築物(現存)	■ 碑	▲ 木	■ 城跡	□ 渡・河岸跡	■ 古墳	● その他	—■— 改変された道	- - - - 市町村境界

■本宿本陣

大正9年雷火にあい土蔵を残すのみである。庭園にある小門や大きな糸杉等により、当時の名残をしのぶことができる。



■新田本陣

表門と書院は、そのまま當時の形を残している。宿帳を始め貴重な木棟としての重要性や竹器が保存されている。



■中山城跡

建保2年2月武藏丸玉党の羽河佐見景高の築城したもので、代々中山氏と称し、17代約380年城主としてこの地を治めた。(平成元年村指定)



凡 例

● 建築物	1 塩原太助接待茶屋跡
	2 本宿本陣
	3 新田本陣
● 神社・寺等	1 中山神社
	2 法雲寺
	3 双松寺
	4 三島神社
■ 城 跡	1 中山城跡
● その他	1 高山のゴヨウツヅジ 2 中山敷石住居跡 3 麻屋伝 4 牛の糞の清水

現況特性図 三国街道 6 高山村中山～新治村羽場

三国街道 6 [高山村中山～新治村羽場]



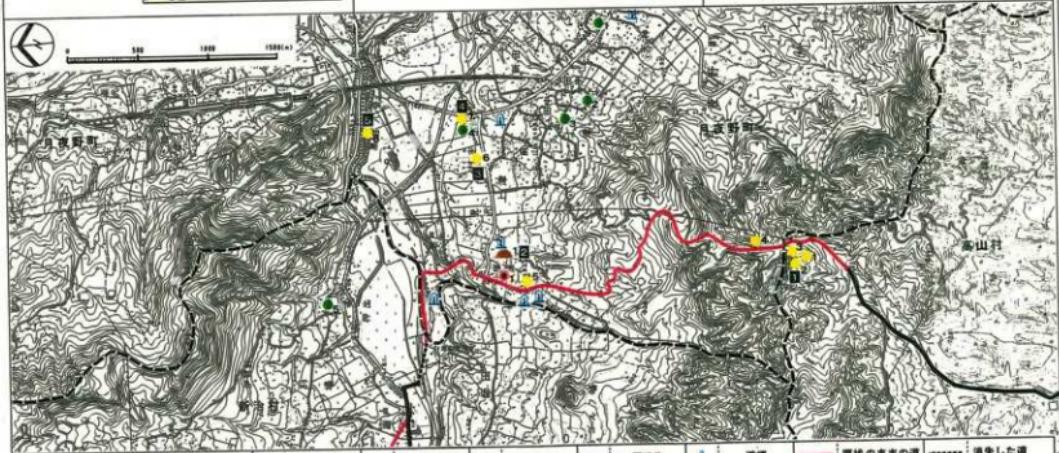
塙原古墳群

6～7世紀にかけて、造られた。以前は50基以上あったが、現在確認できるのは38基。内8基は横穴式石室が開口している。

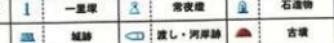


上津塙塚

樹齢は伝承約600年。山後の楠原とされている。樹高は、約12m。根元周囲は約10m。



樹齢は約600年。樹高は、約30m。目通りは約7m。村主八幡宮(村主神社)の御神木になっている。



かつては、赤谷川の両岸にわいた景勝地だったが、大正・左近の景観工事に伴い、左岸の景観は一変し、右岸の景勝地がもっぱら観賞の対象となった。



凡 例	
● 建築物	1 塙原古墳群
● 神社・寺等	1 中村天満宮
	2 大重院
	3 如意寺
	4 村主神社
	5 鐘音寺
■ 古 墳	1 塙原古墳群
■ その 他	1 福守様 2 塙原太助馬つなぎ松 3 萬葉集旧跡 4 金比羅姫岩 5 尋兵安哲禪定門位 6 上津塙塚 7 村主大桜 8 黒岩八景

現況特性図 三国街道 7 新治村羽場～新治村須川

三国街道 7【新治村羽場～新治村須川】

■塙原太助生家



塙原太助は幼少の時に父を失い、19才で一家を出立江戸の税關に勤め公し、42才で独立して開業を始めた。太助は生来豪農富士太助の道した塙原寺は、枚挙にいとまない程であった。

■広福寺

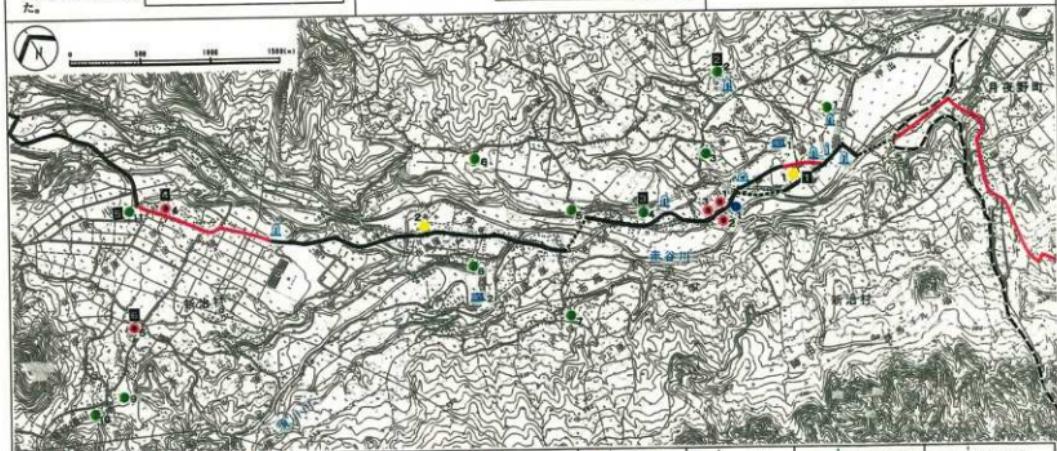


創建年代、開基は不明である。当寺は700年余り前、天台宗として創立。その後玉泉寺三世の嗣法津元俊和尚により曹洞宗に改宗された。

■徳嚴寺



元和8年5月5日に開創。羽場村原源仁右衛門が開基し、舒林寺九世独逸庵存和尚を請し開山する。南宋末代二十三世法燈達緒とし、今日に至る。



凡	● 建築物(跡)	● 神社・寺等	● 近代化道路	■ 一重塼	常夜燈	▲ 石造物	■ 道標	■■■■■ 路状のままの道	===== 消失した道
例	● 建築物(既存)	■ 碑	■ 並木	■■ 城跡	□ 渡し・河岸跡	■ 古墳	■■ その他	— 改変された道	- - - 市町村境界

■須川本陣問屋



本陣は、当初以来梅沢氏の経営で、明治10年に所に移転する。明治14年無名各社、赤城社、兼坂鉢神社、八幡宮を境内に合祀。須川地区の鎮守となっている。

■郷野神社



天保3年紀州郷野より勧請、明治10年に所に奉祀する。明治14年無名各社、赤城社、兼坂鉢神社、八幡宮を境内に合祀。須川地区の鎮守となっている。

■旧大庄屋宅及び書院



天保13年に造られたもの。寄棟造りで内側は上部の間、下部の間などがあり、特に上部の間は床の間、佛床、付け縁、帳台構えをそなえた本格的な書院造りである。
(県指定重要文化財)

凡 例

● 建築物	1 塙原太助生家
	2 塙原太助の造築した土蔵
	3 下新田問屋
	4 須川宿本陣問屋
	5 旧大庄屋宅及び書院

■神社・寺等

1 日枝神社	
2 広福寺	
3 日枝神社	
4 徳嚴寺	
5 宝善院	
6 日枝神社	
7 稲荷神社	
8 月桂山千手院	
9 清水山金泉寺本堂院	
10 駿々宮神社	
11 駿野神社	
近代化道路	1 旧利根銀行新治支店
城跡	1 新巻城跡
	2 霜模城跡
その他	1 塙原太助墓
	2 銀林

現況特性図 三国街道 8 新治村須川～新治村永井

三国街道 8 [新治村須川～新治村永井]

■春翠寺

後醍醐時代末期延慶2年に開山した。火防守護の靈場として広く信仰され、山門、關門、第御塔は群馬県指定重要文化財に指定されている。



日枝神社

建久4年の春、近江国日枝山日吉神社を勧請はじめは山王大權勢として祭られる。明治十年神社合併により日枝神社と改称した。昭和21年御旗指揮により社格減徴となり相俟地区的鎮守となった。



逆桙(豊年桙)

天文12年の春、上杉謙信が初めて関東に兵を出した神、日枝神社を参拝した。謙信は春日山より神參した桙の根を境内に通さに持てもし寄次ければ出陣の幸光が良いものと占ったと言われている。



凡	● 建築物(跡)	● 神社・寺等	● 近代化遺産	■ 一里塚	▲ 異夜燈	■ 石造物	■ 道標	— 原状のままの道	----- 消失した道	— 改変された道	- - - - - 市町村境界
例	● 建築物(現存)	● 神社	● 木	■ 城跡	□ 渡し・河岸跡	● 古墳	● その他				

■猪ヶ京闘跡

三国街道は、五街道に次ぐ重要な街道の一つで、入り鉄砲の女を奪り謀るため寛永8年三代将軍家光の時代に關所がおかれた。現在も役宅が残され、群馬県指定史跡となっている。



沖明宮

元文2年、雨の宮大明神の宣誓を受け、文政5年雨の宮大明神の神宣を受ける。明治41年近村の吹鹿諱神社・永井十二神社・三国の日枝神社と合併し、神明神社と改称し現在にいたる。



■永井本陣跡

江戸時代の、越後九大名の參拜交代のときと新潟奉行、佐渡奉行などが休憩した。万延元年大火で消失し、翌年再建したが、ときの流れにからえず昭和9年解体された。



凡 例	
● 建築物	1 猪ヶ京闘跡
	2 永井本陣跡
● 神社・寺等	1 泰寧寺
	2 日枝神社
	3 海円寺
	4 神明宮
■ 城 跡	1 中城跡
	2 宮野城跡
● その他	1 拝野用水
	2 泰寧寺本堂欄間須彌壇
	3 泰寧寺山門の天井絵
	4 逆桙(豊年桙)
	5 永井の横穴

現況特性図 三国街道 9 新治村永井～三国峠

三国街道 9 [新治村永井～三国峠]

■大般若塚



三国峠に出没する妖怪を封じるために法師温泉から三国街道に通じる百曲りあつた坂道を百は妖怪を増くといふので九十九曲りにして、この周辺で命をなくした人のために建立したものである。

吉田善吉の墓



明治元年3月会津の脱税士町野源之助以下30名の部下と、官軍追撃使大曾根太郎が、高崎、吉井、沼田の越後士を率いて戦った三国合戦で死亡した吉井藩士吉田善吉の墓。

田村越後守の墓



坂上田村麿の縁を引く田村越後守の墓。

凡例

● 建築物	1 三坂茶屋跡
● 神社・寺等	1 御阪三社神社
● その他	1 大般若塚
	2 吉田善吉の墓
	3 田村越後守の墓
	4 長岡藩士の墓



凡	● 建築物(跡)	● 神社・寺等	● 近代化道路	1 一里塚	常夜燈	石造物	1 道標	原状のままの道	消失した道
例	● 建築物(現存)	● 神社	● 並木	城跡	渡し・河岸跡	古墳	● その他	----- 改善された道	- - - - - 市町村境界

■三坂茶屋跡



坂上田村麿の縁を引く田村越後守は、三国権現の神主と共に、三坂茶屋をいとんだ。冬など時越えをする詐人には、なくてはならないお助け小屋であった。

長岡善吉の墓



元文5年2月5日、長岡藩士永井義七はか七名が峰近くで雪崩に会い連鎖した。冬の三国峠の寒さを象徴する墓である。

御阪三社神社



上野赤城明神、信濃國訪明神、信濃國御嶽明神を祀って、上野国、信濃國、越後国の国境とした神社である。三国権現と呼ばれていたが明治初年の廢仏毀釈で現在の呼び名になった。